



ねっとわーく広報

第 28 号



夏の盛りとなりましたが、皆様にはお健やかに過ごしの事とお喜び申し上げます。7月となり新年度を迎えた当社は、設立 10 周年を迎えることとなりました。一つの節目ともいえるこの年を迎えることが出来ますのも、ひとえに構成員の皆様を支えられての事です。心より感謝の意を表し、御礼かたがたご挨拶を申し上げます。さて、スーパーエルニーニョ現象と思われる異常気象により、当社表作(主に大豆)の作業にも支障をきたす事態となりました。自然災害も危ぶまれる今夏、皆様も諸々お気をつけてお過ごしください。

ネットワーク大津(株) 4、5、6 月の主な行事

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 4/5 令和 4 年度 JA 菊池職員農家実習対面式参加 | 5/14 大麦収穫開始(5/22 終了) |
| 4/6 インボイス対策委員会 | 5/19 作業委託管理費の支払い(令和 4 年産産地資金) |
| 4/7 赤カビ防除開始(4/20 終了) | 5/27 小麦収穫開始(5/29 終了) |
| 4/14 作業委託管理費の支払い(令和 4 年産大豆) | 6/5 水稻苗出荷開始(6/26 終了) |
| 4/20 管理部会議 | 6/5 前期田植え開始(6/10 終了) |
| 4/24 オペレーター安全講習会 | 6/12 後期田植え開始(6/27 終了) |
| 4/27 ロボ田植機研修 | 6/27 田植え体験・役員社員交流昼食会 |
| | 6/30 棚卸実査 |

定例取締役会：主な内容について

- 4/3 : 報告事項 第 9 回全国自給飼料生産コンクール 農林水産省畜産局長賞について
令和 5 年 3 月 15 日(水)に開催された第 9 回全国自給飼料生産コンクール表彰式において、農林水産省畜産局長賞の表式を受けてきた旨を報告しました。
- 5/1 : 第 1 号議案 固定資産の取得について
自己資金でのホイルローダ導入について協議の結果、出席取締役全員で承認、可決されました。
ヤンマー ホイルローダ 5,940,000 円(税込)
- 6/5 : 運転記録簿の変更について
安全運転管理者の資格を社員 3 名が取得予定。
今後、企業所有の車両に人を乗せる場合は、アルコールチェックが義務化される為、アルコールチェッカーを設置し、運転記録簿にアルコールチェック欄追加の旨を報告しました。

令和5年産の麦

令和5年産の大麦では普通型コンバインによる収穫及びワラ回収を試みました。以前にも普通型コンバインによる麦の収穫自体は行っており作業に支障がないことは実証済みでしたが、今回は普通型コンバインから排出されたワラは回収可能なのか？という検証を一部圃場で行いました。

結果、排出されたワラは自脱型コンバインのカッター(長わら処理)と同程度であり、レーキによるワラ寄せからロールベアラーによる回収まで問題なく行えました。ただし、自脱型コンバインのバラ落としてよりワラの長さが短いことからロールベアラーでの作業時には機械の条件設定を最適化する必要がある他、コンバイン側でもカッター刃の調整を要する等、注意が必要となります。小麦に関しては昨年「なまぐさ黒穂病」が発生した圃場(約4a)にて再度小麦を作付けしたところ、再発生を確認しました。発生条件や大津町での発生原因等の確定情報は未だ調査中ですが、農林水産技術会議等の研究資料を基に今回の再発生した要因においては、昨年の発病小麦がすき込まれたことで連作により土壌中の胞子(病原)が増加し再発生したのではないかとJA営農指導員と考察し、今後の検討課題として一度水張(水稻作付含む)をすることも対策の一つだとご指導頂きました。



写真は麦ワラを原料に使用するTMR担当者と状態を確認の様子。

TMR事業報告

5月の大麦収穫時期は、TMR製造とワラ回収を同時並行で行えるよう製造計画及びワラ回収計画を立て実行しました。今年は大麦の出来が良く、ワラ回収においても攪拌や寄せ作業にてその影響を強く実感できました。上の記事でも触れた普通型コンバインによる排出ワラは自脱型コンバインと比べワラが縦に裂けた状態であったことが特徴的でしたが、原料として使用する分には程よい状態である為、今後

も収穫作業と合わせ、原材料が作用する製造時

(ミキサー等)の省力化や作業効率向上に繋がる

取り組みとして検討していきたいと思っています。

また、本年度より國武前所長に変わり、益田部長が経営部部长とTMRセンター所長を兼任という形で異動となりました。

	TMR(繁殖)		TMR(肥育)	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
4月	115,177 kg	63,985 kg	55,512 kg	38,862 kg
5月	95,334 kg	85,230 kg	32,132 kg	40,452 kg
6月	26,174 kg	73,441 kg	79,109 kg	68,343 kg
合計	236,685 kg	222,656 kg	166,753 kg	147,657 kg

	試験・試作TMR 計		TMR(搾乳)	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
4月	63,714 kg	79,503 kg	69,995 kg	91,193 kg
5月	0 kg	90,621 kg	47,822 kg	98,756 kg
6月	84,484 kg	67,551 kg	144,816 kg	96,149 kg
合計	148,198 kg	237,675 kg	262,633 kg	286,098 kg

	3ヵ月分合計	
	生産量	出荷量
4月	304,398 kg	273,543 kg
5月	175,288 kg	315,059 kg
6月	334,583 kg	305,484 kg
合計	814,269 kg	894,086 kg



水稲育苗

令和5年産にて試験期間を終了する
苗箱まかせですが、今回、徒長苗への取
り扱いにおける対策として苗の上部を
カットする作業を取り入れました。こ
れにより、作業時に苗の取り回しを改
善し、移植時の風や田植え機が発する
波による苗倒れ等を抑止する他、移植
直後の見栄えも良くする効果が生まれ
ます。尚、苗自体は生長点(根本)付近を
残していれば生育には問題ないとのこ
とで、徒長した第2第3葉を主にカッ
トしました。根張りに関しては掴むだ
けで崩れていた初期に比べ順調に改善
されていますが、部分的に弱い箇所も
見受けられる為、田植え機に投入
する際には苗板を使用していま
す。来期は新たに2集落が導入
を検討している模様で、今後も増
加していく見込みです。導入の際
は取り扱い等、注意点をきちんと
指導した上での導入となります。

育苗実績

計 16,291箱

主食用米

ヒノヒカリ 360箱

ヒヨクモチ 55箱

WCS

夢あおば 2,629箱

飼料用米

夢あおば(通常) 10,891箱

夢あおば(苗箱まかせ) 2,356箱



自動運転中!?



近日中に YouTube クボタ公式
チャンネルにて動画配信予定。

田植が自動化の時代へ

熊本県では自動運転機能を生かした
効率化作業体系の実装を目指し、今年か
らJA熊本経済連と共にアグリロボ田植え
機NW8SA(無人仕様)を活用した省
力化の実証を行いました。当社は実証農
家として参画し、省力化を目的としてア
グリロボ田植え機(8条)2台での作業者
2人体制による田植え作業の実証に、2
年間(令和5、6年)取り組んでいきます。
自動運転の際には圃場形状を登録する必
要があり、複雑な形状や三角形の圃場で
は機能しませんが、基本形状が四角形で

あれば角がカーブであつても問題なく形状
に追従し、移植作業が行えることを確認出来
ました。自動運転機能を使用するには使用者
訓練を受講する必要があります、当社では社員7
名が訓練を行い期間中の作業に当たりまし
た。尚、自動運転機能とは別に2点の地点登
録を行うことで作動する直進アシスト(GS)
機能は講習無しでも使用でき、雇用した引水
作業員からも作業時の労力軽減を実感でき
ると好評でした。



田植え体験

6 月 27 日に田植え体験を開催しました。

大津南小学校・陣内幼稚園・大津幼稚園・いちご保育園・緑ヶ丘保育園の児童、園児約 150 名が参加し、全身泥んこになりながら田植えを楽しみました。

また、田植え後、無人田植え機の実演を行いました。

子ども達は、勝手に動く機械を食い入るように見て、「すごい!!!」と興味津々で、先生や保護者もスマホ片手に興奮しておりました。

この体験で何か感じて子ども達の心に残ってくれたらいいと思います。



臨時社員紹介

さかもと
坂本

たつや
竜弥
23 歳



引水出身です、
頑張ります。

今後の予定

毎月 第 1 月曜日 定例取締役会

7/5 集落運営費の支払い

7/下旬 稲わら契約書の配布

7/下旬 令和 5 年作付麦の作業委託申込書の配布

7/下旬 第 1 回水稻一斉防除

7/下旬 令和 5 年あぜぬり申込書

8/月上旬 下期監査

8/月上旬 農作業受委託契約書の取りまとめ

8/中旬 第 1 回大豆防除

8/下旬 第 2 回水稻一斉防除

9/12 第 11 回定時株主総会(予定)

9/下旬 SGS 刈取り・製造作業開始

9/下旬 オペレーター安全講習会

10th Happy Anniversary
WITH BEST WISHES



[お問い合わせ先] ネットワーク大津株式会社 熊本県菊池郡大津町陣内 427

TEL 096-285-4080 FAX 096-285-4909

HP <http://www.network-ozu.com>

発行責任者：徳永浩二

広報責任者：右田哲章